

葉身がみられ、針状の第一葉と異なっている。第二葉が発達する頃、第一葉の節から、離れた下部から、支根が2本伸びはじめる。さらに成長が進むと節からも発根がみられるようになる。第一節と第二節の節間が伸びると同時に第三葉、第四葉が成長してくる。第三葉は先端が3つに分裂し、第四葉ではさらに8つに分裂し、通常の沈水葉の形態に近づいてくる。

以上、簡単にフサジュンサイの実生の形態について述べたが、文献のお世話をいただいた神戸大学、角野康郎博士に感謝する。

文 献

三木 茂 (1937) 山城水草誌

伊藤元己 (1982) スイレン科の胚と実生について. 植物分類地理 33: 143-148.

Hains, R. W and K. A. Lye (1975) Seedlings of Nymphaeaceae. Bot. J. Linn. Soc. 70: 255-265.

スケジュールをたてています。詳細については次回の会報でお知らせしますが、今から心づもりをいただけると幸いです。

○No. 30 (12月号) の原稿も募集しています。水草に関するさまざまな話題を御寄稿下さい。11月20日頃までをお願いします。

原稿の送り先 〒 657 神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学教養部 角野康郎 宛

○水草研究会第10回全国集会の予告

グリーンピア安浦で、第9回全国集会の総会の席上、第10回の全国集会は、1つの節目だから、ぜひ東京でという要望が強く、満場一致で東京に決定しました。

その主旨に従い、早速折衝し、下記のようにほぼ決定しましたので、お知らせいたします。

場 所：東京都立神代植物園植物会館 (調布市深大寺元町)

日 時：昭和63年8月6日 (土) ~ 7日 (日)

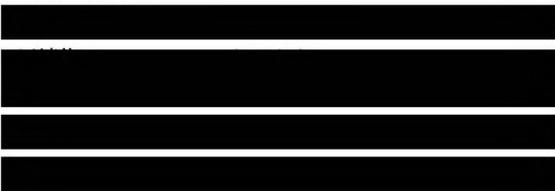
内容の詳細については、次号で発表の予定です。

なお、全国集会の開催と前後して、水草展が企画されています (予定)。

(準備委員代表 大滝末男)

○会員移動

<新入会>



<住所変更>



○10周年記念号の発行について

総会報告 (4頁) でもお知らせしましたように、来年度に記念号を発行することになりました。水草研究会10周年にふさわしい内容のあるものになりたいと考えております。つきましては、多数の会員の方から御寄稿をいただきたく願います。次第です。

この度の記念号は、研究論文はもとより趣味や鑑賞の対象としての水草、食品や民芸品として生活の中に生きている水草など、多彩な側面から水草をとりあげるものにしたいと念じております。

今のところ3月末日ごろに投稿を締切り、5月発行の

水草研究会会報 No. 29 (1987年9月)
(Bulletin of Water Plant Society, Japan)

発行 水草研究会 (神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学教養部生物学教室内)

編集 角 野 康 郎

印刷 中村印刷株式会社

(神戸市灘区友田町3-2-3)